

住友ゴム工業(株)加古川工場

環境保全対策実施報告書

令和4年度(令和4年4月～令和5年3月)に実施しました環境保全対策及び令和5年度(令和5年4月～令和6年3月)の環境保全活動計画は次の通りです。

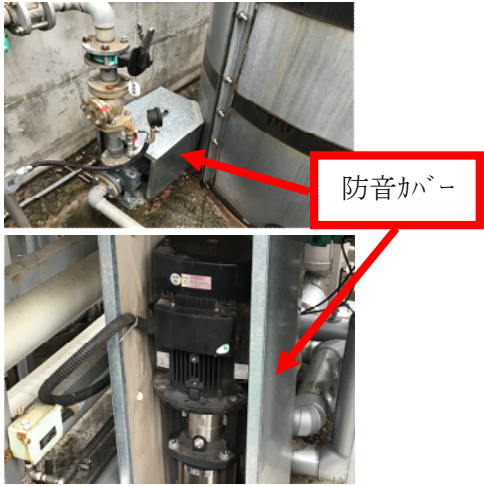
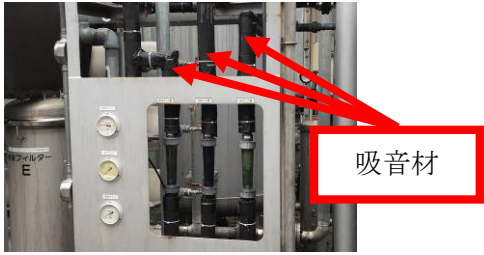
1. 環境保全対策実施状況(令和4年度)

(1) 大気汚染に係る対策

推進の内容	実施の成果
①ガスボイラーの最適運転により大気汚染防止に取り組む ア: ボイラーの定期整備 イ: 排ガスの定期測定 ウ: オンライン24時間監視システム エ: メンテナンス契約(メーカー点検・整備等)	・ボイラーメーカーとの24時間監視システムによる運転管理と定期的なメーカー定期整備によりボイラーの適正な運転を継続することが出来ました。
★②省エネ改善活動の推進 ア: 省エネ委員会の活動 イ: 蒸気、エア、熱の漏れ箇所調査及び修理 ウ: 生産性向上活動 エ: 工場内照明のLED化推進 オ: 空調機更新(7台)および既設空調機(18台)へ添加剤を注入し電力削減 カ: 省エネタイプ変圧器(トランス)導入 キ: 蒸気トラップメーカーによる漏れ診断 ク: 暑熱対策用空調機に人感センサーを設置し電力とCO2削減する空調システムの導入	・令和4年度は、継続するコロナ禍等の影響もあり、当工場で生産する一部の商材では対前年で減産となりましたが、その他、主力製品を含む商材では増産(増量)した為、トータルとして減産分をカバーする形になりました。その結果、進めてきた省エネルギー活動も加えてエネルギーの使用効率向上効果を得ることになり、エネルギー原単位は対前年比で2.53%の良化となりました。 令和5年度も継続して省エネ活動を行います。現時点において、減産による影響により3月末時点でエネルギー原単位は対前年比で約3%程度悪化しています。これを挽回すべく省エネルギー活動の継続と更なる活性化に努めます。 *エネルギー原単位: 単位生産量当りのエネルギー使用量 エ: 蛍光灯590灯をLEDへ更新しました。 オ: 空調機7台を省エネタイプへ更新および既設空調機18台のコンプレッサーに添加剤を注入し、フロン低減による電力削減を図りました。 カ: 既設変圧器2台を省エネタイプ(アモルファス磁石内蔵)へ更新しました。

	ク：冷風吹き出し口付近に人感センサーを設置、作業者がいるときだけ冷風を出す空調システムを導入することで電力の削減を行いました。  空調 冷風吹き出し口 人感センサー
--	--

(2) 騒音・振動に係る対策

推進の内容	実施の成果
①騒音発生源対策及び保安員による工場周辺パトロールの継続 ②騒音削減対策 ア：RO装置ポンプに防音カバーを設置 イ：RO装置配管に吸音材を設置	・工場敷地境界における騒音は、規制値内にあります。 (騒音測定地点は、添付資料参照下さい) ア：RO装置ポンプ2箇所には防音カバーを設置し、騒音拡散低減を図りました。  防音カバー イ：配管内からの流水による音を軽減すべく吸音材設置による改善を図りました。  吸音材

(3) 悪臭に係る対策

推進の内容	実施の成果
① 定期測定時にパトロールを実施し、日常の管理を強化。又、発生源対策として、溶剤系材料の使用量削減に取り組む。	・工場敷地境界における悪臭等は、規制値内にあります。

(4) 産業廃棄物に係る対策

推進の内容	実施の成果
① 廃棄物の分別およびリサイクルの推進	・廃棄物の徹底した分別と製品の仕損を削減し、ゼロエミッションを継続しています。
② 化学物質 (PCB) 対策	・令和 4 年 3 月に事業所内にて新たな高濃度 PCB (蛍光灯安定器 2 灯) を見つけ、東播磨県民局に報告しました。 発見したものは容器に入れて保管した上で、令和 5 年 1 月に JESCO 指定業者への引き渡しを完了しました。

(5) 緑化に係る対策

① 工場敷地内の緑化の維持管理	・絶滅危惧種 (フジバカマ) の育成管理と加古川河川敷への移植活動を行い、緑化環境の維持向上に努めました。
② 近隣諸学校への株分け	・近隣小学校への株分け (フジバカマ) を通し環境保全活動の大切さについて啓蒙活動を行いました。 

(6) 地域連絡会

推進の内容	実施の成果
① 加古川工業団地連絡協議会	・新型コロナ予防対策の情報交換

(7) その他

推進の内容	実施の成果
① ISO14001 の維持	・10 月維持審査完了。 継続的に環境改善に取り組んで参ります。
② 内部監査	・令和 4 年度 (22 年) 内部監査実施。 ・令和 5 年 2 月 内部監査員研修 7 名受講

2. 協定値と実績値の比較

(1) 大気関係

(実績値：最大値または年間総排出量)

項 目		協 定 値	実 績 値
窒素酸化物排出量	(Nm ³ /時)	0.7	0.3
	(t /年)	8.6	2.9

3. 環境保全活動

(1) 令和5年度基本方針

項目	内容
基本方針	住友ゴムグループの「将来のあるべき姿」として、【持続可能な社会の実現に貢献出来る企業】を目指し、2050年迄に製造拠点のカーボンニュートラルを目指します（SCOPE 1, 2） ～住友ゴム工業株式会社ハイブリッド事業本部環境方針抜粋～
組織体制	<pre> graph TD Management[経営者] --- Committee[ハ・フォーマンス会議 (ECO)委員会] Management --- Departments subgraph Departments direction LR GA[総務・人事課] Acc[経理課] Mfg1[製造一課] Mfg2[製造二課] Mfg3[製造三課] Prod[生産課] Eng[工務課] QA[品質管理課] end </pre> - 経営者 ・ハイブリッド事業本部長 ・加古川工場長 - ハ・フォーマンス会議 (ECO)委員会 - 総務・人事課 - 経理課 - 製造一課 - 製造二課 - 製造三課 - 生産課 - 工務課 - 品質管理課

(2) 令和 5 年度環境保全活動計画

環境保全活動	目標	目標達成の為の計画、方策
化学物質対策	・化学物質の管理とそれによる使用量削減	①化学物質の管理による使用量削減を行います。 ②新規化学物質登録制度により、使用開始前にリスクアセスメントを実施します。
エネルギー対策 (地球温暖化防止対策)	・法令及び協定の順守 ・エネルギー原単位対前年 1%削減	①製造工程の生産性を向上させることにより、電力・蒸気原単位の改善に努めます。 ②工場設備で発生する蒸気ドレンを回収し有効利用する等、省エネをさらに進めます。 ③保温強化及びバルブ・トラップ・配管等の漏れ点検を強化し、迅速に修理を行います。 ④老朽化した空調機 7 台を高効率タイプに更新、また既設空調機 27 台のコンプレッサへ添加剤を注入し消費電力削減を図る計画です。
廃棄物対策	・法令の順守 ・廃棄物発生率（有価除く）対前年 2%削減	①製品の仕損を減少させて廃棄物発生量の削減に努め、引続きゼロエミッションを継続します。
不法投棄に係る対策	・法令の順守	①産廃業者への監査実施 ②産廃マニフェストの運用
緑化に係る対策	・緑地の維持管理 ・近隣企業・地域との連携	①どんぐりプロジェクトの推進。 ②生物多様性保全活動拡大として「フジバカマ」「ナガボテンツキ」「ナガボノリモコ」等の絶滅危惧種となっている植物育成を継続実施します。 ③加古川小学校様へのフジバカマ育成フォロー
悪臭対策	・法令及び協定の順守	①環境測定時のデータを基に日常管理強化に努めます。また、発生源対策として、溶剤の使用量削減と水系化の転換を進めます。
土壌汚染対策	・法令及び協定の順守	①当該区域の定期測定を行い、モニタリングを継続します。
環境マネジメントシステム	・環境マネジメントシステムの運用と推進	①ISO14001 環境マネジメントシステムの運用により、環境面での継続的改善を図っていきます。

地域社会への参画	・地域児童への支援	① NPO 法人 One Heart のサポート (子ども食堂・FOODDRIVE 活動 協力・児童書の寄付協力)
周辺環境に影響を与えるおそれのある事故等 発生時の地元への広報等	・事故等の事態に係る 情報を広く市民に 周知する。	①関係官庁へ迅速な報告を実施 すると共に、加古川市のホーム ページ、防災メール、ツイッター等を通じ 広く情報発信を行います。

添付資料： 工場配置図及び騒音測定場所

